

自分の考えを明確化し、伝えることのできる生徒の育成

—ICT端末を活用した考えを整理しまとめる活動や発表活動を通して—

特別研修員 特別支援教育 関根ゆかり（特別支援学校教諭）

生徒の実態

伝えたい思いをもっているが、自分の考えがまとまらない。

教師の願い

自分の考えを「聞いてもらえた」「もっと伝えたい」と感じてほしい。

ICT端末の活用

【授業実践】国語科「先生にインタビューして、分かったことを発表しよう」

手立て1

自分の考えを整理しまとめる活動の工夫

個に応じた映像の提示

生徒それぞれがICT端末で自分のインタビュー動画を繰り返し再生し、経験したことを確認する



個に応じた選択肢の提示

インタビューの質問を決める

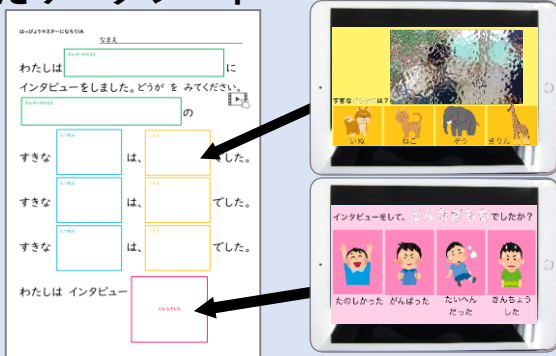
インタビューの結果をまとめる



個々の学習に合わせて提示された写真やイラストを手掛かりに、選択肢から伝えたいことを選び、考えを整理する

ICT端末と対応したワークシート

画面と枠の色を対応させ、伝えたいことをまとめる



手立て2

まとめた考えを伝える活動（発表活動）の工夫

個に応じた発表方法



原稿を読んで発表する

ICT端末を操作して発表する

発表時の動画等の活用

大型テレビとICT端末をつなぎ、動画の見せたい場面や伝えたいことに関するイラストを映しながら発表する

こうやって伝えると、伝えやすいし、みんなが聞いてくれて嬉しいな



成果

- 一人一台のICT端末を活用し個に応じた映像を提示したことで、個々の生徒のペースで学習を進めることができ、経験したことを思い出したり伝えたいことを決めたりする姿が見られた。
- 写真やイラストの選択肢を提示することで、生徒が伝えたいことを決めやすくなった。また、ワークシートにまとめるようにしたことで、生徒が分かりやすく伝える姿が見られた。
- 発表時に、モニターに動画やイラストを映しながら発表したことで、生徒の発表内容が伝わりやすくなり、聞き手の生徒が発表者に注目する姿が見られた。

課題

- 選択肢の提示によって生徒の表現が限定されないように、生徒自身の言葉を引き出す機会を作ったり、新しい語彙を獲得できるようにしたりする必要がある。
- 生徒が自分の力で学習を進めることができるように、生徒のICT機器の活用の実態に合わせた教材を提示する必要がある。